



指導ポイント&ヒント 40課 かずの せん

【内容】数直線の読み取り

【表現】[]に入る数

【指導ポイント&ヒント】

- ・ 39課の4の②で数直線の学習に踏み込んだわけですが、実は、数直線を使った数の学習はもっと小さい数で学習しています。ただ、小さい数の場合はあまり「数直線」という感じでとらえていない子どもが少なくないようです。そのため、1目盛りが100や1000になったとたん間違える子、1目盛りが10を表していても数直線には100ずつしか数が記されていないと分からなくなる子が続出します。どうやら、小さい数での数直線と大きい数での数直線との理解が「つながっていない」ようです。そこで、この課では小さい数から大きい数までを「まとめて」学習するようにしました。かなり細かいステップに分けてありますので、ほとんどの子どもが理解できるはずです。
- ・ この課は、一気に学習を終えるのがポイントです。2時間に分けて教えなくてはいけないようなときは扱わないほうがよいでしょう。子どもの頭の中に「数直線」が描けたら、そのイメージをその1時間で一気に固めてしまうことが重要です。語学は「小分け」にして学習。算数は「一気に」学習。これがポイントのようです。
- ・ この課の重要表現は「□に入る数は何ですか。」です。設問ごとに繰り返し子どもの耳に入れましょう。全ての設問が終わったあとで、今度は子どもの方から先生に「□に入る数は何ですか。」と問わせて先生が答えると、発話練習になります。



40課
ようごとぶん

Unidad 40
Palabra y Frase

ようご	Palabra
かずのせん	Línea numérica

ぶん	Frase
かずのせん	Línea numérica



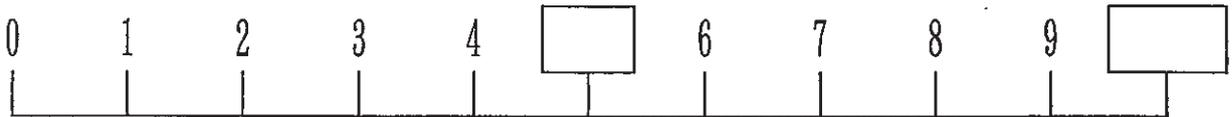
40 かずの せん

簡単な数系列を利用して数直線に慣れる

1

にはいるかずは なんですか。

①



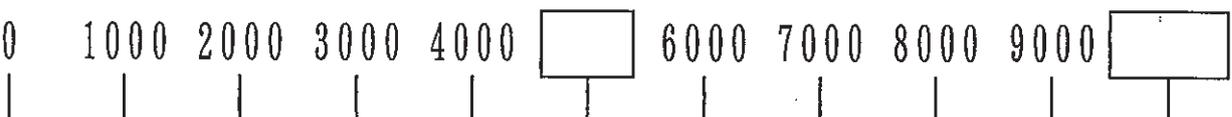
②



③



④



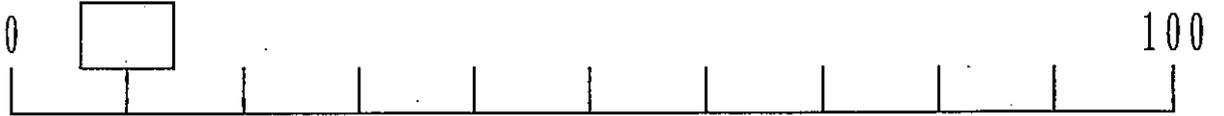
2

10等分された目盛りから1目盛りを読み取る

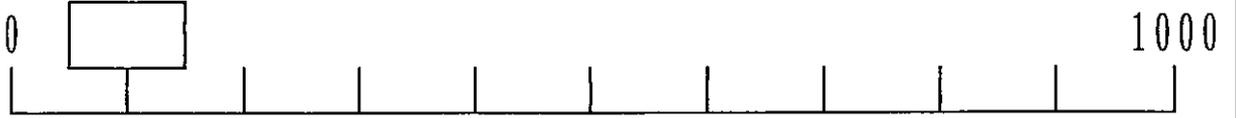
①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



3

□にはいるかずはいくつですか。

